



作家  
元国際線乗務員  
**黒木安馬**

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に『ファーストクラスの心配り』、『あなたの人格以上は売れない!』(プレジデント社)、『成「幸」学』(講談社)、『出過ぎる杭は打ちにくい!』(サンマーク出版)、『面白くなくちゃ人生じゃない!』(ロングセラーズ)、『小説・球磨川』(上下巻・ワニブックス)などがある。  
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.7b.biglobe.ne.jp/~sanpercent-club/

21世紀だ! ————— 人生・農業リセット再出発 206

## 狭き門より入れ!

**聖**書にこうある。「狭き門より入れ、滅びに至る門は大きく、その路は広く、これより入る者多し」。志を達成するには人の行かない道を選べ。JAL 倒産復活時に京セラの稲盛和夫氏は我々社員に説いた。「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」だ。先天的な能力、後天的努力の熱意、そして最も大事なものは考え方。それは心構えという設計図である。エジソンが小学校一年で退学処分になったのは先生を困らせたからだ。「先生は1+1=2というが、僕の粘土を合わせると、1+1=大きな1にしかならないけど?」。考え方を考えるだけで、結果は減るか繁栄か、大きく違ってくる。

**京**都で8代続く老舗の米屋は、売り上げ低迷で発想の大転換をした。食べるコメはスーパーでも買える。ここは観光地の京都、お土産として売れないか? 小分けパックにして2袋を赤い糸で結び、名付けて『良縁米』! おむすび用に『赤い糸の縁むすび』。おにぎり、炒めもの、酢飯用など各用途に適したコメをカラフルな可愛い12個のパックに小分けして、源氏物語やお雛様の袋に『十二単』として次々とアイデアを商品化した。缶ビールの中身は同じでも、外観デザインが春や秋などの季節を彩ってあると売れ筋になるのと似ている。京都お土産屋の面白ギフトは爆発的に売れて、売上は3年間で14倍にもなった。

**カ**バンとコウノトリの街、兵庫県の日本海に近い豊岡市、山深い田舎の沿道に車が並んでいる一軒家がある。人々は車中で待機か、売店で買物をしている。“卵かけごはん”だけを食べさせる『但熊』と売店『百笑館』だ。出てくるのは本当にただ卵かけ御飯で、醤油をかけて食べるだけ。360円で卵は食べ放題。自宅で食べても同じような卵かけ御飯に2時間待ち! 席はたったの15席しかないから、空き待ちはとてつもなく長い。待ち時間の暇つぶしは、売店で買物をするしか

ない。新鮮野菜 苺玉、苗、切り花、かきもち、クッキー、ドーナツ、草餅、梅干し、ケチャップ、味噌、卵かけ御飯用の醤油……そこらへんの道の駅の小型版だが、他にやることのないお客がたむろしているから、飛ぶように売れる。

経営者は西垣源正さん、67歳。聞いて驚く、年商1億5千万円! 360円の卵かけ御飯で15席の店、開店朝8時半から夕方6時までで叩き出せる金額ではない。からくりは、限られたわずかな席数と、何とも長い待ち時間の買物。ようやく念願の目標にありつけたときの喜びと、美味しさ。そう、空腹は最大の御馳走である。物珍しさと話題性だけで店はどんどん繁盛する。まさに「出過ぎる杭は打ちにくい!」で、単純明快だけど、抜きん出た特異性で勝負している。

**私**の会社でコンサルティングをしている多くの著名旅館ホテルでは「料理は目で食べさせ、舌で味わわせ、耳で楽しませよ」と教育する。高い金を払っているのに、ナメコの味噌汁かよ! とお客様が思うところを、仲居さんが「このナメコは料理長が夜明け前に誰も知らない秘密の山の中に出かけて、一年で数週間しか採れない貴重な天然物です」と説明したらどうなるだろう。瞬時に、ただのナメコではなくなってしまうのである。

『但熊』は売店の売上だけではなく、その話題性を最大限に活用して、全国に通販も展開している。「あなたは他の人と違いますね」と言われれば、日本人はそれはまずい!と受け取るが、欧米ではそれは褒め言葉であり、「他の人と同じですね」と言われるのは、つまらない人間と言われているのだ。

人間、裏の山にも細道あり、そこは花の道。あなたはどのように発想の転換を図られるか、普通の卵を金の卵に変えてみよう! コメがコメに、卵が卵だけにしか見えないようでは、まだ道は遠い。